

Takashi Akiyama Poster 2010-2009





ごあいさつ

秋山 孝

秋山孝ポスター美術館長岡・館長
多摩美術大学・教授

2009年7月11日に秋山孝ポスター美術館長岡（APM）の開館式典が行われた。梅雨の時期に花火と共に突然晴れやかな日があらわれた。翌日の12日に美術館の扉が開き、市民が集まってきた。このポスター作品集は、そのAPMオープンポスターから、2010年3月制作のメッセージ・イラストレーション・ポスターまで近作18点を掲載した。

ポスターの魅力は、1枚の程よいサイズの大きな紙に印刷してあり、1つのメッセージをシンプルに、魅力的な表現をもって伝えるものだ。しかもそこに作者の視点と個性が出れば、なおさら良いものになる。あまりにも薄い紙で儚さもあるが、その時代を端的に語り、芸術的な価値もある。日本画や油絵などとは全く異質なもので、規定されたサイズに図像と文字からなるという絶対的な条件がある。しかし、ITのようなものとは異なり、実在感がある。そして、どこにでも貼れ、展示できる自由さがあるし、タフなメディアであることも確かだ。

最新作のポスター「メッセージ・イラストレーション・ポスター」のアイデアコメントを引用しよう。「メッセージは心の叫びだ。心の真実を伝えたいからだ。しかし、声にならないメッセージも数多くある。また、誰も理解してくれない訴えもある。あるいは拒絶されるものも多い。そうなるとう然然と無表情を表す。人間は心が悟られないように仮面をつける。まるでジェームズ・アンソールの仮面だ。表情とメッセージは、ときとして裏腹になるときもある。あまりにもそれは複雑で怪奇に満ちている。だからこそぼくたちは、いつもシンプルで分かりやすい真実感のあるメッセージを創造し、そして伝えなければならない。」

APMのオープン後、上海・松江（ソングジャン）美術館での110点の「秋山孝ポスター展」が同じ月の末に開かれ、8月にはタイ・バンコク（Thailand Knowledge Park）での「秋山孝ポスター展」が開かれるなど、矢継ぎ早にさまざまなイベントが開かれた。APMでは、10月に多摩美術大学大学院イラストレーションスタディーズのメッセージイラストレーションポスター展を開催し、さらにAPM美術館大学の講演会として斎藤公男先生、牧野圭一先生を招いて開催した。

今年の1月25日に長岡らしい優れた景観づくりに貢献した建築物として、3年に1度の第3回長岡市都市景観賞を受賞する喜びを得た。美術館のある宮内撰田屋地区では、「越のむらさき」「機那サフラン酒のこて絵の蔵」に続く3つ目の受賞となり、街のランドマークとして「ポスターアート」という名がこの年に刻まれた。



テープカット（2009年7月11日）



開館式典・オープニング



サポーターズ倶楽部会長挨拶

Message Illustration Poster

Illustration Studies Tama Art University



[Title] ----- Message Illustration Poster
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2010
[Client] ----- 多摩美術大学 イラストレーションスタディーズ
[Category] ----- Education

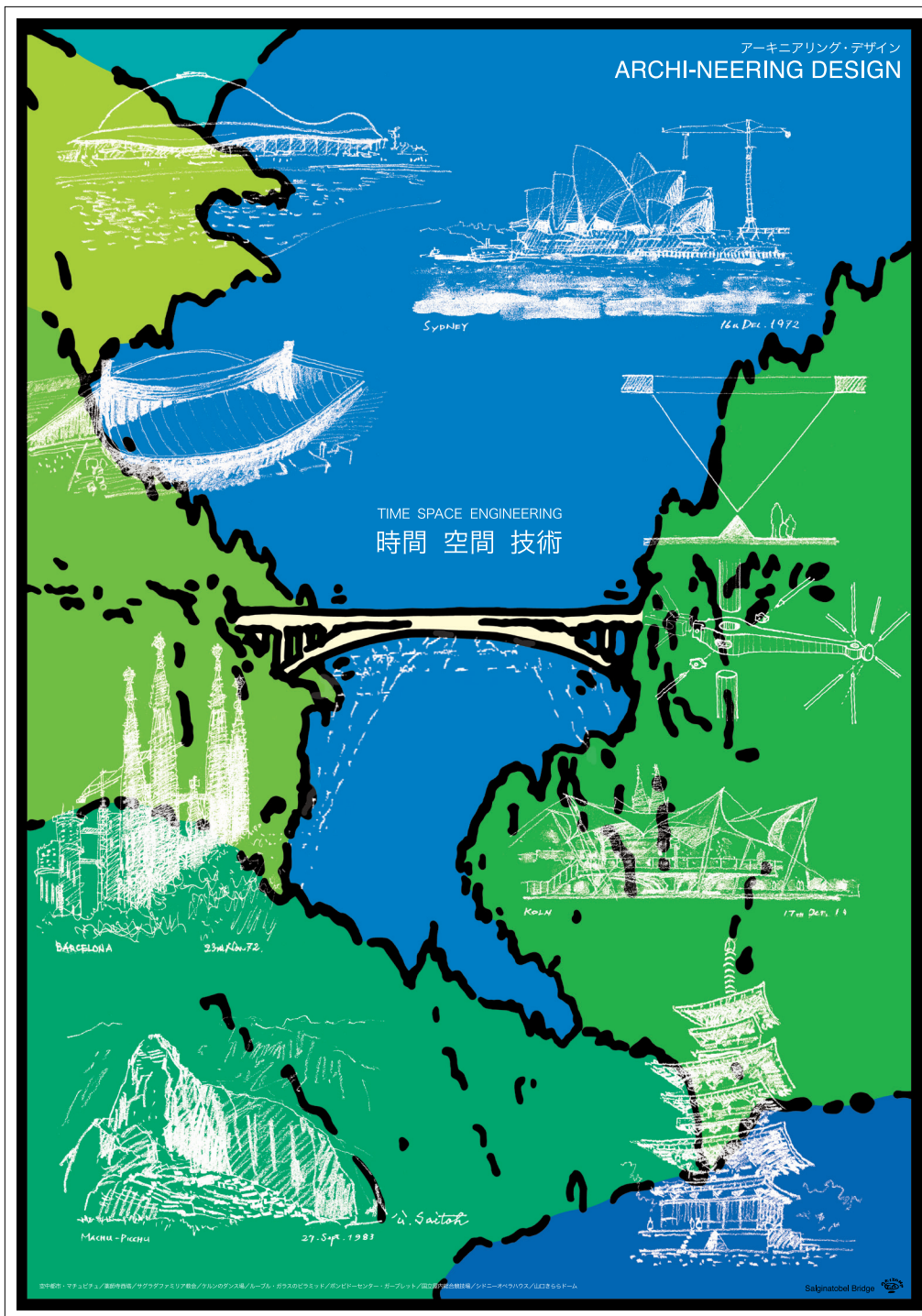
[Idea] ----- メッセージは心の叫びだ。心の真実を伝えたいからだ。しかし、声にならないメッセージも数多くある。また、誰も理解してくれない訴えもある。あるいは拒絶されるものも多い。そうすると必然的に無表情を表す。人間は心が悟られないように仮面をつける。まるでジェームズ・アンソールの仮面だ。表情とメッセージは、ときとして裏腹になるときもある。あまりにもそれは複雑で怪奇に満ちている。だからこそぼくたちは、いつもシンプルで分かりやすい真実感のあるメッセージを創造し、そして伝えなければならない。

Lecture / Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka
美術館大学 2010 秋山孝ポスター美術館長岡



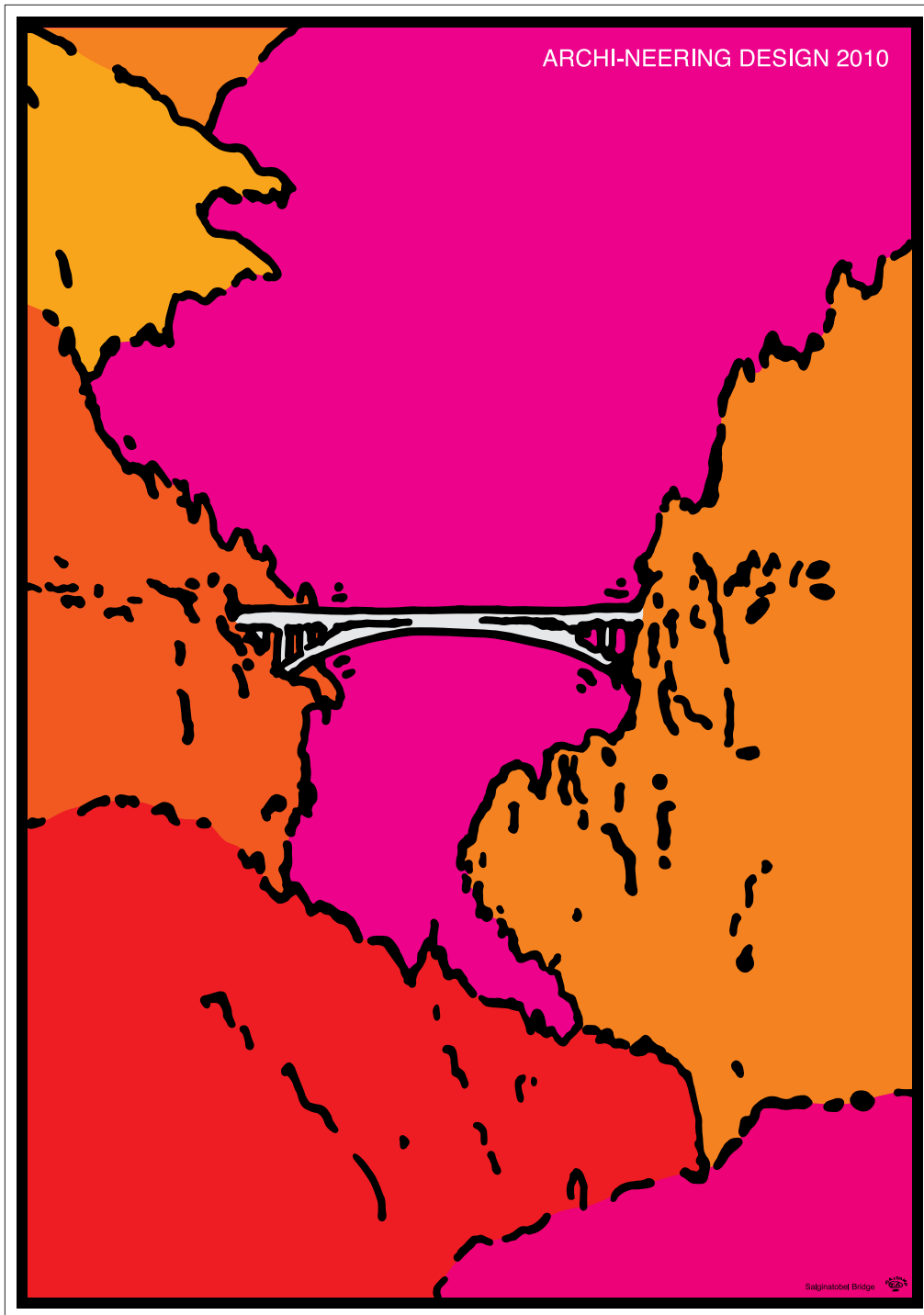
[Title] ----- 美術館大学2010
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2010
[Client] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡
[Category] ----- Education

[Idea] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡では、美術館大学という講演をやっている。2010年度の美術館大学のポスターだ。ポスターのデザインは、千社札をモチーフとした。江戸時代に流行したもので、自分の名前入りの札を神社や仏閣に参拝をした記念として貼った。サイズは、一丁札と呼び、幅一寸六分(58ミリ)、高さ四寸八分(173ミリ)で、時間が経つと自然にはがれるようにふ糊を使い、竿の先に夫婦刷毛を使った。書体は、一般的には籠文字を用いる。この小さな千社札は、まるで小さなポスターのようで、日本独特な文化となっている。粋でほくはこの美しい小さな紙のメッセージが好きだ。



[Title] ----- アーキニアリングデザイン展 (青) (赤)
 [Size] ----- 594 x 420 mm (A2)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2010
 [Client] ----- 日本建築学会
 [Category] ----- Culture

[Idea] ----- プレゼンテーションで制作したポスターにさらに齊藤公男先生のスケッチを載せることになった。それは10のアーキニアリングデザインの物語性「時間・空間・技術」をより明快にするためだった。スケッチは、空中都市・マチュピチュ、薬師寺西塔、サグラダファミリア教会、ケルンのダンス場、ルーブル・ガラスのピラミッド、ボンビドーセンター・ガーブレット、国立屋内総合競技場、シドニーオペラハウス、山口きららドーム、そして、技術を越える美の世界を憧れる人々にとって、一人静かに訪れたい巡礼の地・サルギナトペール橋。



[Title] ----- ARCHI-NEERING DESIGN 2010 (青)(赤)
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2010
 [Client] ----- 日本建築学会
 [Category] ----- Culture

[Idea] ----- 日本建築学会前会長の齋藤公男先生(日本大学名誉教授)からアーキアニングデザイン展のためのポスターデザインの依頼を受けた。これはプレゼンテーションのために制作したポスター作品だ。スイス・ベルン生まれのロベルト・マイヤールが1930年に完成したサルギナトベール橋をテーマとしてデザインした。齋藤先生が技術を超える美の世界を憧れる人々にとって、一人静かに訪れたい巡礼の地と述べた。その橋は、車が一台通れるRC橋で、対岸の山腹に住む当時わずか50人ほどの村人のために造られたものだ。長さ90メートル、幅3.5メートルの橋だ。そしてぼくは青と赤の世界のポスターを2点プレゼンテーションした。



[Title] ----- Voices in Freedom
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2009
[Client] ----- メキシコ国際ポスタービエンナーレ
[Category] ----- Social

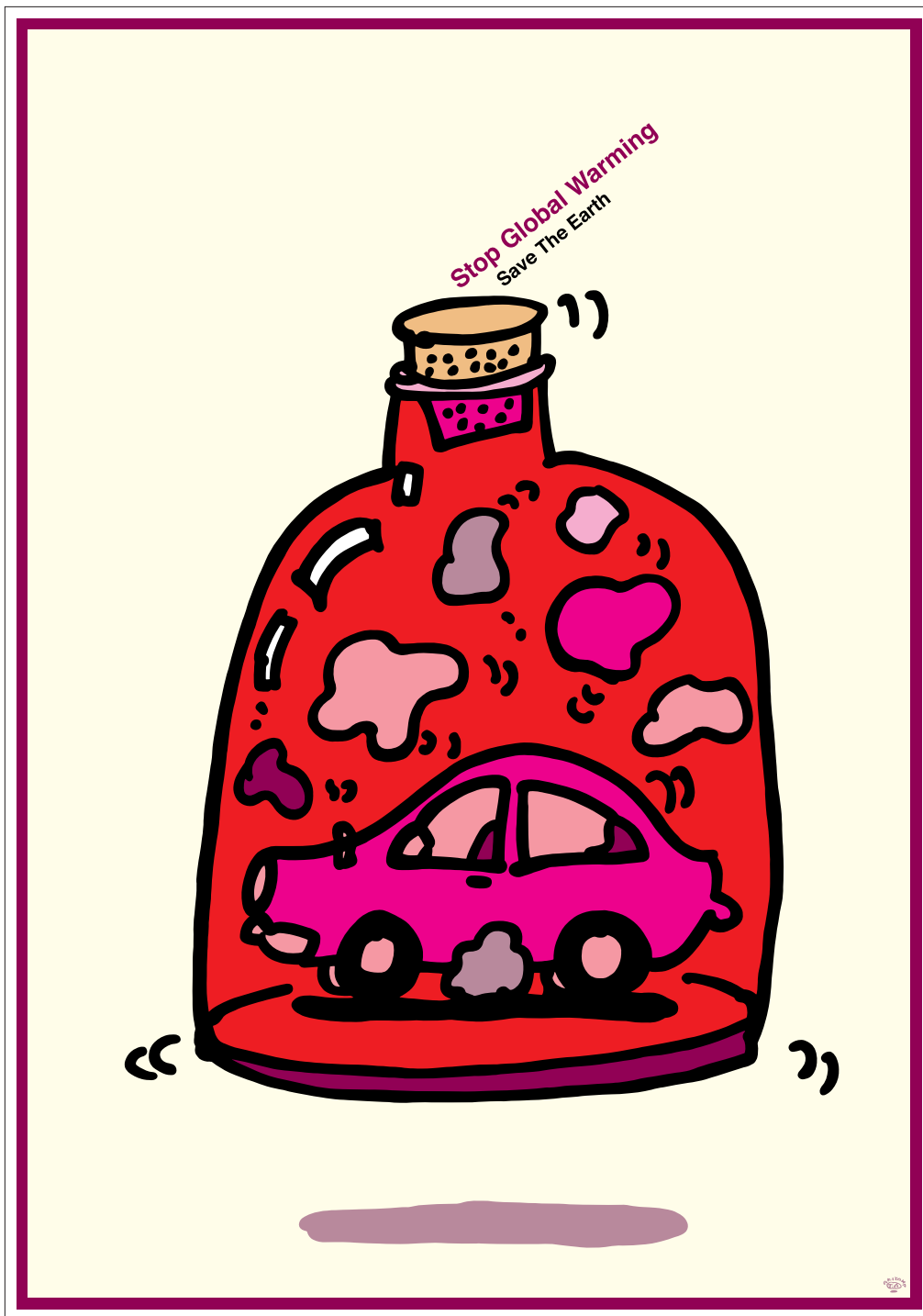
[Idea] ----- メキシコ国際ポスタービエンナーレ議長の、ハビエル・ベルムデスから VOICES IN FREEDOMというテーマでポスター制作の依頼を受けた。それは、1910年に始まったメキシコ革命の100周年を記念して行われる展覧会だ。革命にはいつも「自由のメッセージの声」がある。ぼくは象徴的なメッセージ「自由の声」を、拡声器のマイクと "FREEDOM" の文字でイラストレーション化しポスター表現した。バックは黒で文字は赤。

The Tokushima Modern Art Museum Design Project
PICASSO x De FESTA 2009



[Title] ----- Picasso De Festa 2009
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2009
[Client] ----- 文化の森 徳島県立近代美術館デザイン・プロジェクトPICASSO x
De FESTA 2009実行委員会
[Category] ----- Culture

[Idea] ----- 1909年ピカソ27歳の時に対象物を解体し再構成していくこの劇的なキュビズムの時代が始まる。ぼくのピカソへのオマージュは、ピカソの持っている天才で大胆な私生活のイメージをキュビズム表現で試みた。



[Title] ----- "Stop Global Warming Save The Earth"
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2009
[Client] ----- 台湾ポスターデザイン協会 (台北、台湾)
[Category] ----- Ecology

[Idea] ----- 台湾ポスターデザイン協会から招待を受け、同協会主催による、ポスター展に出品した。展覧会のテーマは「地球温暖化」だ。地球温暖化が進むと、気温が上昇するだけでなく地球全体の気候が変化し、さまざまな影響が現れると考えられている。水の問題、自然への影響、暮らしへの被害だ。ぼくたちは、今のところ地球温暖化をあまり直接的に実感しないし、不自由しない。しかし、ぼくらのアイデアは、それを実感するために限られた空間をイメージし、具体化したものだ。

Message Illustration Poster

Tama Art University Illustration Studies
2009.10.12 (Mon) - 10.31 (Sat)
Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

メッセージイラストレーションポスター展
多摩美術大学大学院 イラストレーションスタディーズ
秋山孝ポスター美術館長岡



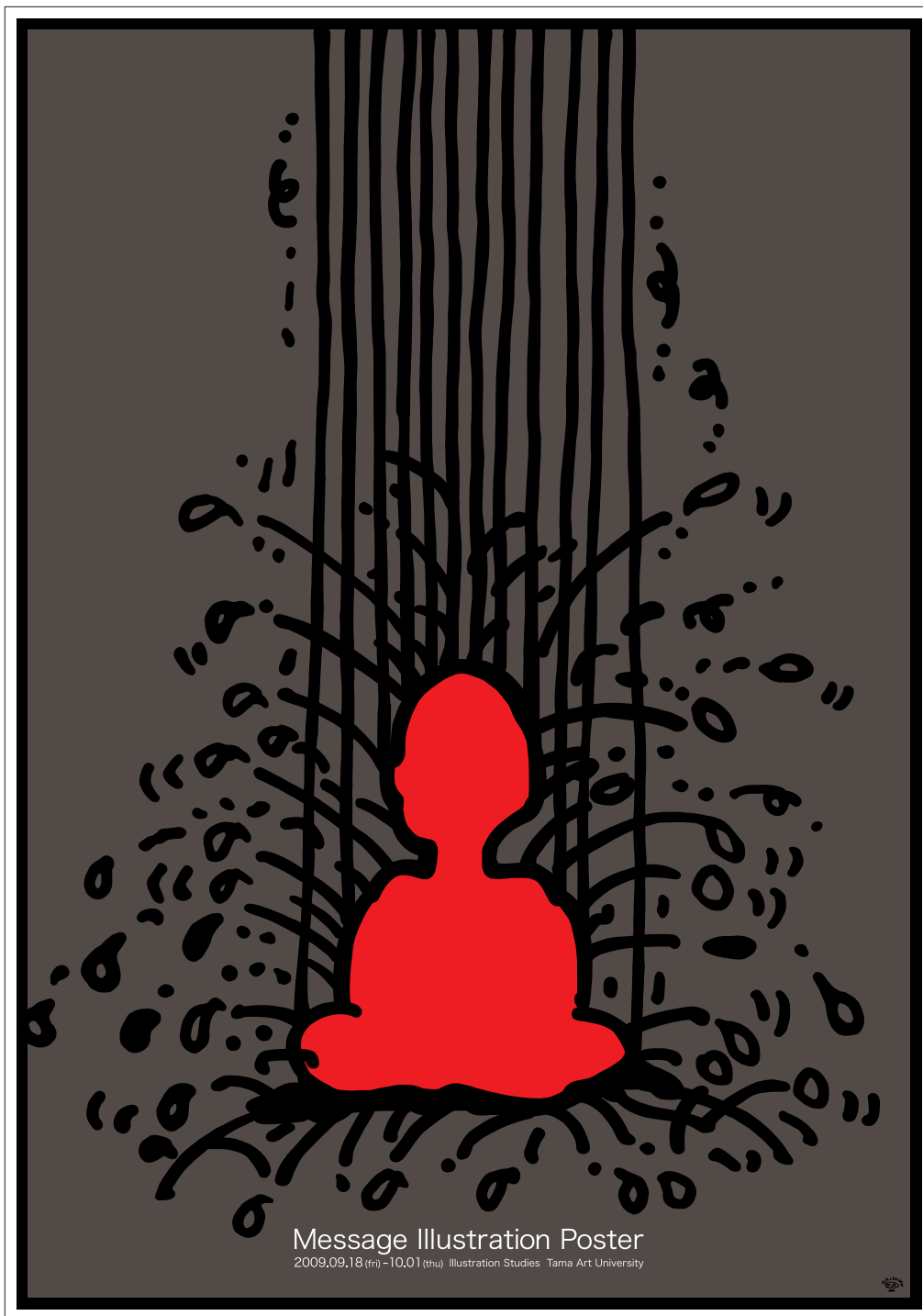
[Title] ----- メッセージイラストレーションポスター展
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2009
[Client] ----- 多摩美術大学大学院 イラストレーションスタディーズ、
秋山孝ポスター美術館長岡
[Category] ----- Education

[Idea] ----- 多摩美術大学大学院「メッセージイラストレーションポスター展」は、秋山孝ポスター美術館にとって記念すべき展覧会だ。それは美術館のコンセプトのひとつであるポスターとイラストレーションの研究の発表ができたことだ。アイデアは「情報化社会の膨大なメッセージは我々に混乱をもたらす。その騒音は我々の環境を悪くする。それは、ノイズだ。」というキーワードから生まれた。



[Title] ----- 地震 Earthquake Japan (car)
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2009
 [Client] ----- 多摩美術大学 地震ポスター支援プロジェクト
 [Category] ----- Social, Education

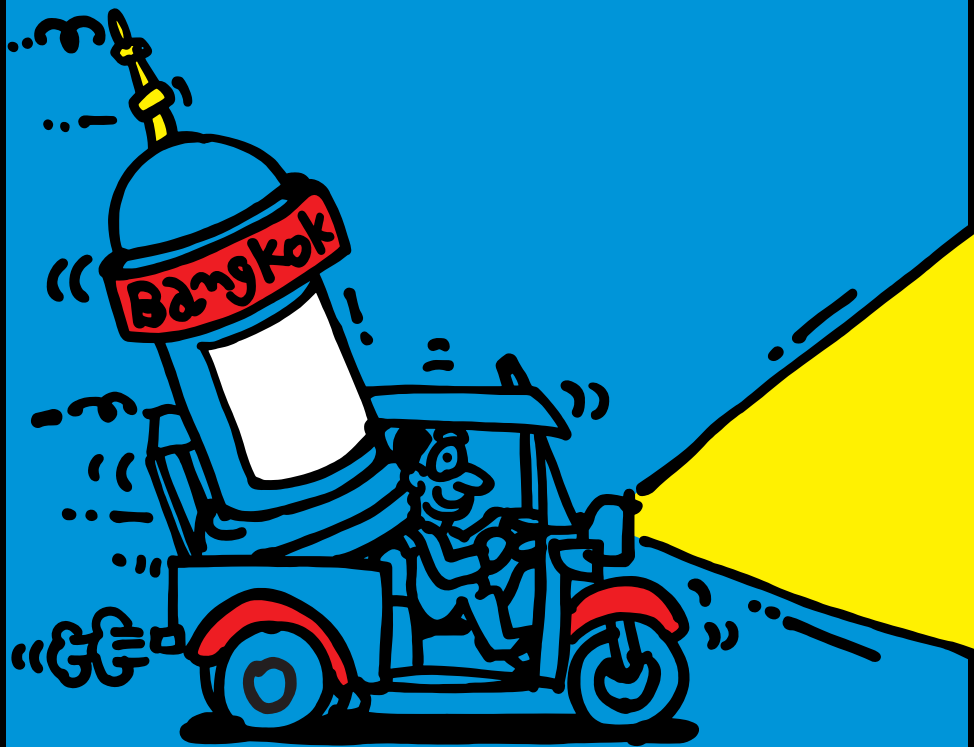
[Idea] ----- 地震ポスター支援プロジェクトは、2004年から始まり、今年で6年目となった。展覧会は5回目、展覧会活動の参加者は430名を超え、作品点数は730点以上となった。あくまでもポスターの力を使い、災害を忘れず記録することを目的とし、あきらめずに長期的に展開していこうと計画している。2008年6月14日の岩手・宮城地震の際、道路がどっと崩れ落ちた。その災害における認識記録をイラストレーションにした。



[Title] ----- Message Illustration Poster
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2009
 [Client] ----- 多摩美術大学 イラストレーションスタディーズ
 [Category] ----- Education

[Idea] ----- ポスターは沈黙の声である。そこに描かれているイラストレーションを読み取り、理解する。そのプロセスが神秘的で、面白い。ポスターのデザインは、修行者が滝に当たり、悟りを開くというイラストレーションを描いた。そのシルエットには赤色を配した。メッセージの核心に触れたかったからだ。

TAKASHI AKIYAMA IN BANGKOK
THAILAND KNOWLEDGE PARK 2009.08.11 - 08.23



[Title] ----- Takashi Akiyama in Bangkok
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2009
[Client] ----- Thailand Knowledge Park (タイ・バンコク)
[Category] ----- Culture

[Idea] ----- 日本の1.4倍の広さを持つタイ王国において初個展を開催した。8月11日から8月23日まで首都バンコクのタイランド・ノウレッジパークの会場だ。首都バンコクは、チャオプラヤー川が流れ、王宮と格式の高い寺院ワット・プラケオがそびえ立つ。展覧会のテーマは「ユーモア」だ。ユーモアは国際コミュニケーションの道具として重要で効果がある。ポスターのデザインはバンコクの名物トゥクトゥクだ。派手な外観の小型オート三輪にポスター塔を乗せてバンコクの夜を走る。そのイラストレーションを見ると、笑顔がやってきました。



[Title] ----- Takashi Akiyama Illustration Poster in Shanghai China
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2009
 [Client] ----- 松江美術館(上海)
 [Category] ----- Culture

[Idea] ----- 中国では4回目、上海では2回目の個展となる。松江（ソンジャン）美術館は、明・清時代は全中国15大都市として松江府の名を轟かせた上海直轄市にある。美術館はレンガ作りの建物でイギリス様式だ。展示はエコロジー、社会、文化、教育のポスター作品110点の大展示となった。今回の展覧会告知ポスターは「汗血馬（かんけつば）」をモチーフとして中国のダイナミックさを表現した。「汗血馬」は血のような汗を流し、一日に千里を走ると言われた西域産の名馬で、近隣諸国への侵入不可欠の戦力であった。

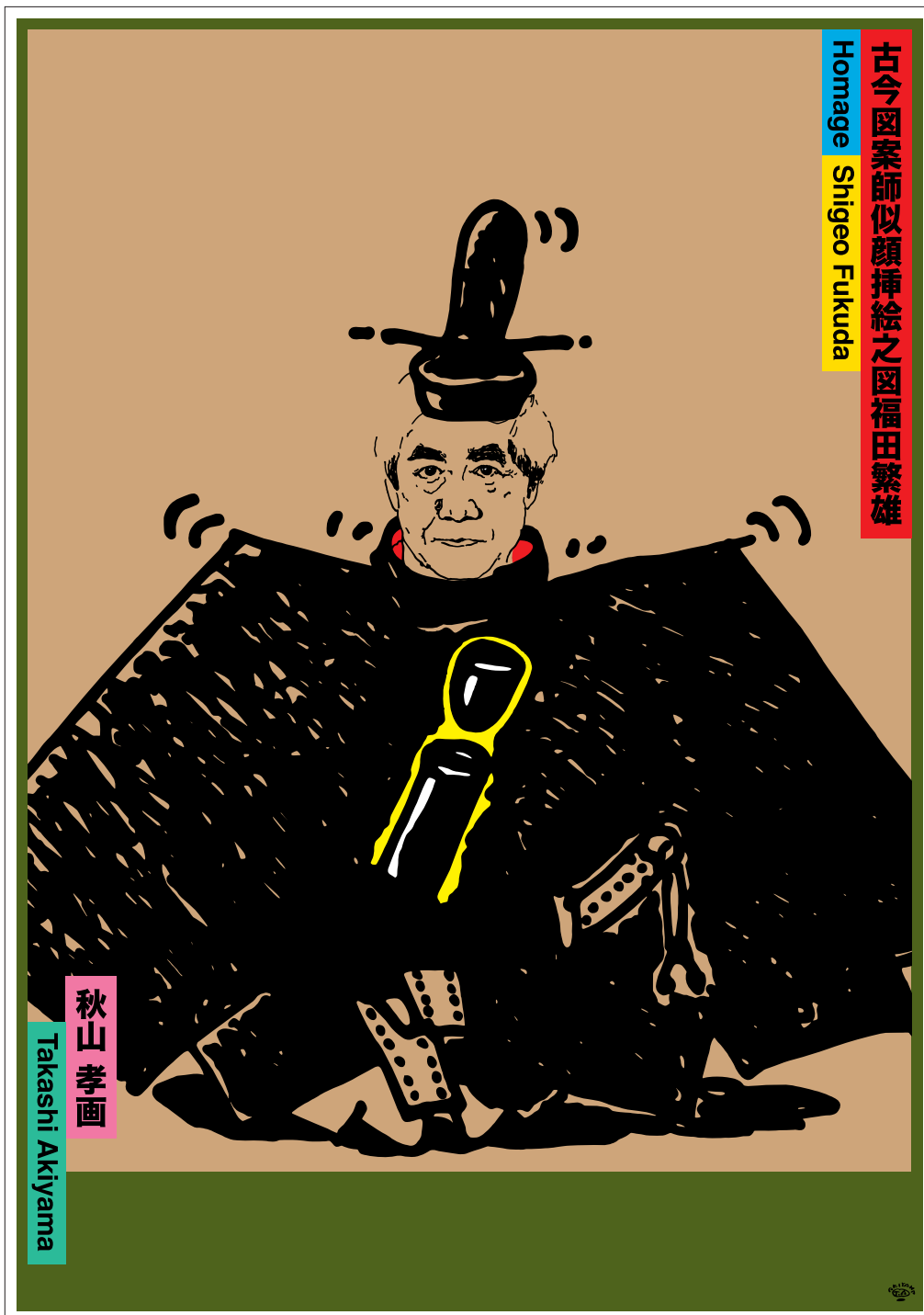


Student Conference 2009
Children's Art Project in Nepal
 Illustration Studies Tama Art University
 2009.07.18 (sat)-07.19 (sun)



[Title] ----- Children's Art Project in Nepal
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2009.07.18
 [Client] ----- 多摩美術大学 イラストレーションスタディーズ
 [Category] ----- Education

[Idea] ----- 「ネパール子供絵画教育プロジェクト」と題したスチューデント会議を多摩美術大学で開催した。ネパールの子どもたちは、自由に絵の表現を使ったビジュアルコミュニケーションを持っていない。「ナウリコット村(ネパール)の子どもたちと絵を描く旅」のメンバーは、子どもたちにもう一つのコミュニケーションの手段を伝え、絵の表現を通して感動と喜びを分かち合う目的としている。ポスターデザインは、ネパールの美しい山々からビジュアルコミュニケーションの鳥が羽ばたいてきた。



古今図案師似顔挿絵之図福田繁雄
Homage Shigeo Fukuda

秋山孝画
Takashi Akiyama

[Title] ----- "Homage Shigeo Fukuda" 古今図案師似顔挿絵之図福田繁雄
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2009
[Client] ----- 第3回ポリビア国際ポスタービエンナーレFukuda Hommage (ポリビア)、
Fukuda in Memoriam+Homage A Fukuda Exhibition (フィンランド)
[Category] ----- Culture

[Idea] ----- 福田繁雄先生は東京藝術大学、大学院のぼくの恩師だ。2009年1月11日も
膜下出血で逝去された。世界各地でFukudaオマージュ展が開催。「福田繁雄先生は日本の
侍だ。彼は厳しさ、静けさ、そしてユーモアを兼ね備えていた。東京藝術大学でぼくは福田先
生から多くのことを教わった。」

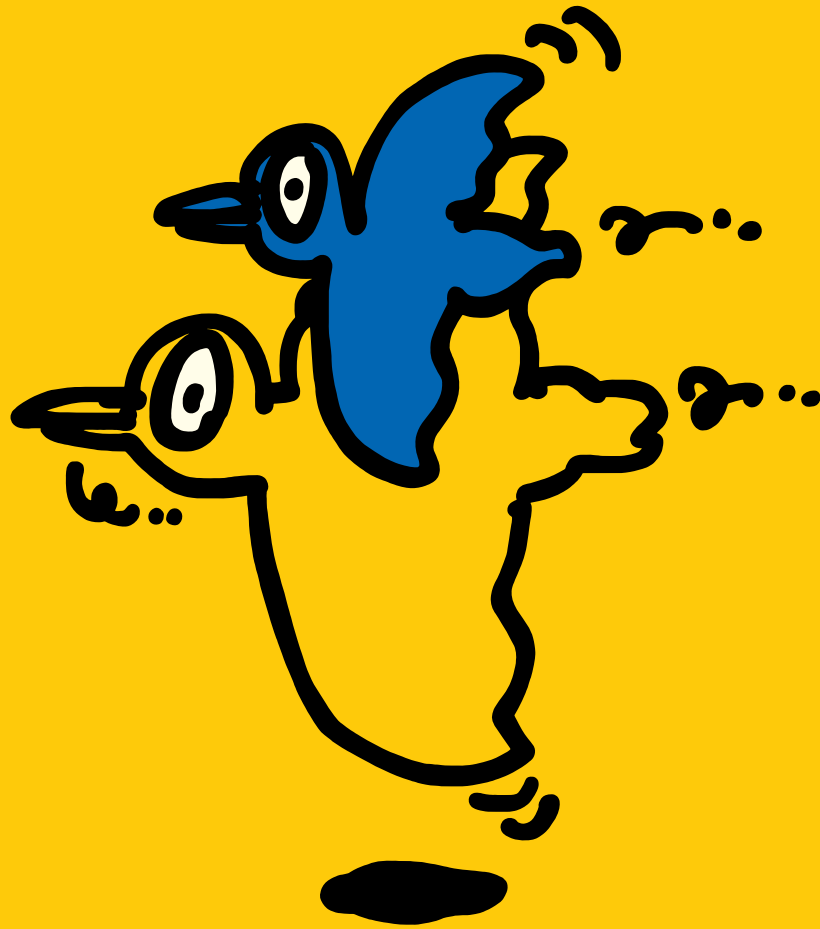
Any child needs love.



[Title] ----- Any child needs love.(2点シリーズ)
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2009.03
[Client] ----- 多摩美術大学 イラストレーションスタディーズ
[Category] ----- Social

[Idea] ----- 作品のアイデアは、母親鳥が4羽のヒナを背に乗せて飛んでいる。子供は人類の宝だ。そして、子供は真剣に遊んで成長する。子供に決して遊びを禁止してはならない。また子供に学習のみを強要して疲弊させてもいけない。そうしないと、情熱的な集中力(インテンシテイ)が身に付かない。遊びの中からこそ、真の職業人たる重要な要素が生まれる。

Any child needs love.



[Title] ----- Any child needs love.(2点シリーズ)
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2009.03
[Client] ----- 多摩美術大学 イラストレーションスタディーズ
[Category] ----- Social

[Idea] ----- 作品のアイデアは、母親鳥と一緒に飛んでいる。そこは安心感に満ちている。そして、子供は真剣に遊んで成長する。子供に決して遊びを禁止してはならない。また子供に学習のみを強要して疲弊させてもいけない。そうしないと、情熱的な集中力(インテンシティ)が身に付かない。遊びの中からこそ、真の職業人たる重要な要素が生まれる。



[Title] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡-2009開館／シンボル
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2009
 [Client] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡
 [Category] ----- Culture

[Idea] ----- 2009年7月12日に秋山孝ポスター美術館長岡の開館にあたって、美術館のシンボルマークを制作した。象形文字の始まりの美をデザインした。美術館の象徴である「美」という文字の始まりは、羊という形から生まれた。羊は神に捧げるもので、羊+大で形のよい大きな羊を表わす。



[Title] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡 2009 Open
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2009
[Client] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡
[Category] ----- Culture

[Idea] ----- 2009年7月12日に「秋山孝ポスター美術館長岡」が開館。イラストレーションとポスターを国際的に研究し発信するポスター美術館だ。ポスターデザインは、ポスターを掲示するためのポスター塔をモチーフとした。それを擬人化し、ポスター塔が帽子を取って声をあげてオープンを告げている。「秋山孝ポスター美術館長岡」のキャラクターとなった。

エコ&ピース + 選

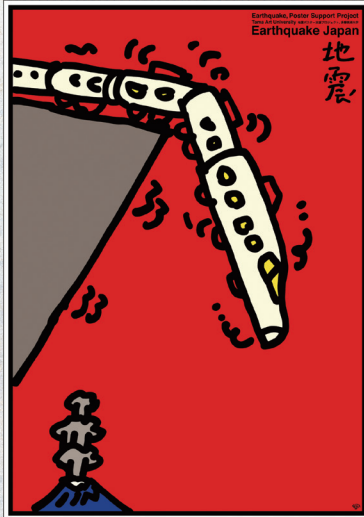
▷7

グラフィックデザイナー U・G・サトー

崖から宙吊りになった新幹線が、今にも落下しそうに怖い。いつこんな惨事が起きたのだろうか。とわが目を疑う。

2004年、中越地震

秋山孝「地震・Earthquake Japan」



つたと聞く。この地震で

上越新幹線は脱線こそしたが、幸い大惨事には至らなかった。しかし次に起こりうることを懸念し

て、あつてはならぬ状況を想定、喚起のために描かれたのがこれである。

この震災の地、長岡に

ある。

情緒的な表現を排し、ユーモアに満ちたコミカルな作風は、きわめて明快。どの画面も外側を色の太枠で囲む構成で、すぐに彼の作だと分かる。

子供から外国人にも通じるビジュアルで勝負する貴重な存在といえよう。

昨秋、長岡の古い銀行

を改修して、自身のポスター美術館を開館させた。一方、大学で教鞭を

とりながら、外国の様々な展覧会に常に出品して

飛び回る、行動力も群を抜いている。(2008

年、オフセット、103

ちまちまポスターにしてア

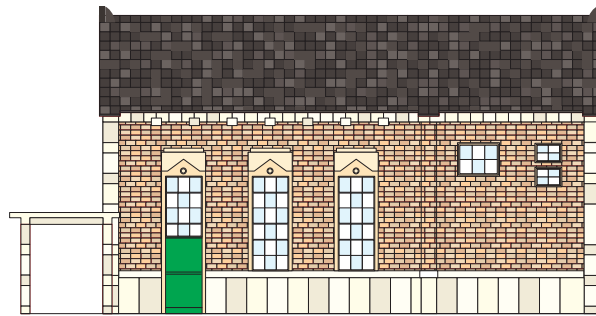
ピールするデザイナーで

(73才)

×73才)

[Title] ----- 日本経済新聞 記事 (文化) U.G.サトー「エコ&ピース十選(7)」
 [Newspaper] ----- 日本経済新聞
 [Date of issue] ---- 2010年(平成22)3月15日(月曜日)版
 [Technique] ----- オフセット輪転機
 [Size] ----- 140 x 104 mm
 [Category] ----- Culture

[Idea] ----- 日本のグラフィックデザイナーを代表する平和ポスターで世界的に著名なU.G.サトー氏の日本経済新聞・文化欄の10回連載「エコ&ピース十選」の記事だ。10人(海外7人・日本3人)の作品を選んで、その解説をしたものだ。その短い文章は、U.G.サトー氏でなければ書けないクリエイターのすぐれた観察眼であり、非常に的を得ている。秋山孝を紹介するにぴったりだ。



●2010年「秋山孝ポスター美術館長岡」開館のご案内

- ・第3回企画展「中国ポスター展」期間:4月16日(金)～6月30日(水)
- ・第4回企画展「秋山孝ポスター展II」期間:7月10日(土)～9月23日(木)
- ・第5回企画展「メッセージイラストレーションポスター展II」期間:10月3日(日)～10月31日(日)
- ・開館時間:午前11時～午後5時まで(入館は閉館の30分前まで)
- ・休館日:火曜日
- ・入館料:無料

"Takashi Akiyama Poster 2010-2009"

発行日 :2010年4月1日
 発行者 :秋山孝
 発行所 :秋山孝ポスター美術館長岡
 〒940-1106 新潟県長岡市宮内 2-10-8
 Tel,Fax : 0258-39-1233
 E-mail : info@apm-nagaoka.com
 URL : http://apm-nagaoka.com

デザイン:秋山孝事務所:秋山孝・大河原一樹・高橋庸平
 印刷所 :東銀座印刷出版株式会社
 ※無断で複写、複製および使用を禁ず。

・中綴じ製本/A4(天地297×左右210mm)
 ・表紙・本文:OKブラスター7C菊Y93.5

"Takashi Akiyama Poster 2010-2009"

Date of issue :2010.04.01
 Publisher : Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka
 2-10-8 Miyauchi Nagaoka-city Niigata 940-1106 Japan
 Tel,Fax : 0258-39-1233
 E-mail : info@apm-nagaoka.com
 URL : http://apm-nagaoka.com
 Design : Takashi Akiyama Studio : Takashi Akiyama,Kazuki Okawara,Yohei Takahashi
 Printed in Higashi-Ginza Insatsu-Shuppan Inc.

© 2010 Takashi Akiyama, Published in Japan by Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka.

All right reserved.No part of this book may be reproduced in any form or by any means, electronic or mechanical,including photocopying or recording, or by any information storage and system,without permission in writing from the publisher.

